



佐野マレットゴルフ大会

情報委員会

佐野区としては、令和元年以降3年半ぶりに行事が開催された。コロナ禍になってから、当たり前のように行われていたソフトボール大会、盆野

球大会、そば打体験、しめ縄作りなど、すべての行事が中止になっていました。令和5年5月8日に、新型コロナウイルスが5類移行となり、日常生活はコ



第73号

発行所 佐野公民館
責任者 滝沢 一隆
編集 情報委員会
印刷所 北信ローカル



ロナ禍以前に戻りはじめましたが、公民館行事となると以前のようにはなかなか再開できずにいました。マレットゴルフ大会を開催するにあたっては、令和4年度からの提案で、なぜマレットゴルフが案として出たかと言ふと、ソフトボール、野球などは、人数集めが大変とか、佐野区も高齢化社会になり参加者が、あまりいないとか、マレットゴルフであれば、個人戦で、当時はコロナ禍でしたので外でやるスポーツであれば、感染リスクは少ないのではとこのことで出された案です。



令和5年9月30日に、マレットゴルフ大会が行われました。当日の一般参加者は8人と公民館運営委員の方で大会がスタートしました。一般参加の方々は、南部公民館大会でも優秀な成績を残している方々で、委員の人達は、はじめての人ばかりなので、ベテランの人に教わる形での大会でした。ルールも普通のゴルフとはほぼ同じなので、覚えやすく老若男女楽しめるスポーツだと思えます。今回のルールも18ホール回るのはなく半分のハーフでこのことで時間短縮もでき、午前中で大会を終えることができました。大会結果は、言うまでもなく一般参加8人が上位成績でした。今回の大会を通じて思うことは、マレットゴルフ大会が今後何年も継続していく切っ掛けとなればと思います。



マンドリン演奏

中野高校ギター・マンドリンクラブOB・OGによる演奏が始まり、初めて聞く演奏という事もあり、最初から演奏の迫力に感激してしまいました。演奏していただいた曲は、『丘を越えて・糸・ティーズ・ニーメドレー・むすんでひらいて・千曲川・ふるさと・また逢う日まで』の7曲でした。演奏の途中で指揮者の方が、使用している楽器の説明をしてくれました。使用している楽器は、マンドリン・マンドラ・マ



ンドセロ・ギター・コントラバスの5種類だそうです。演奏後、リーダーの方に話を聞いたところ、月3回の練習だそうです。他での演奏会は、立志館高校、ティーズ・ビーズ等で演奏しているそうです。今後の目標は、会独自の演奏会ができればとの事でした。



令和5年11月18日に、佐野公民館フェスティバルを開催しました。このイベントも初めての開催となり、委員の皆さんも期待と不安の中での開催だったと思います。イベントをやるのかやらないのか、内容については運営委員の会合で何度も話し合い決定されました。イベントの内容は、マンドリン演奏、興隆寺住職の講話、ヨガ体操、お楽しみ抽選会、軽スポーツゲームとなりました。

興隆寺住職さんの講話



住職さんに佐野区の歴史について講話をしていただきました。佐野遺跡から、青森県の亀ヶ岡式土器と東京都の弥生式土器が発見されていて、約2700から3000年前に集落があったとのこと。出土した土器の復元品が町文化センターに展示されているそうです。この地域は、日本の北と南の合流点だったそうです。

織田信長の時代に、下高井郡、上高井郡に分けられたそうです。真田藩主の幸道、幸貴、幸教さん達もこの地の温泉に入浴しに来たそうです。この時代の開拓、開墾が進んで、幕末には佐野区に水田が70丁分もあったそうです。

佐野区に住んでいても、知らない事ばかりで大変勉強になりました。

ヨガ体操



宮組の山本講師に、ヨガ体操を習いました。ヨガで大切なのは呼吸、体を捻る、伸ばす、肩甲骨を動かす、毎日継続すること、息は鼻から吸って鼻から出す、ヘソ回りに意識を置く事だそうです。毎日継続する事で、腰が曲がったり、下腹が出るのを防げるそうです。ヨガをやる事によって、筋肉がほぐれ、気持ち良くなります。

ニュースポーツゲーム



ニュースポーツは、競い合うことより体を動かすこと自体を楽しむことに重きを置いたスポーツで、年齢、体力に関わらず楽しめる、ルールがシンプルで分かり易いのが特徴です。今回、体験していただいたのは、ヒットだターゲット、ラダーゲッター、輪投げでした。



お楽しみ抽選会

フェスティバル参加の方々に、紐で引っ張る千本引きくじをしていただきました。体育委員の人達が苦労して作成し、素晴らしい出来栄でした。



しめ縄づくり講習会

令和5年12月19日に、しめ縄作りを行いました。こちらも久々の開催でしたが、多数の方に参加いただきました。

講師の高相さんに習い、皆さん上手に作られていました。手作りのしめ縄を飾り、皆さん良い新年を迎えられた事でしょう。



編集後記

保倉 好久

本年度、2回目の館報が発行出来た事にホッとしています。

2年間、運営委員を務めました。コロナ禍になってからは、なかなか公民館活動を再開出来ずにいて、不安のなかでのスタートでした。ようやく令和5年度になり活動を再開できたのですが、初めての企画ばかりでしたので、参加者も思った程来なかったですが、今後の切っ掛けになったのではないのでしょうか。令和5年度から始まったマレットゴルフ大会、佐野公民館フェスティバルが何年も続くよう期待しています。